



11日(火)、宮川海岸にて、岬陽小学校の1年生から4年生が磯観察を行いました。天候にも恵まれ、潮の具合もよく、楽しく活動できました。

最初に、全体的な注意を受けた後、1年生は4年生のお兄さん、お姉さんたちが面倒を見て、海に出ていきました。



ちょうど、イワシの群れが海岸に寄ってきたらしく、網でイワシを掬った子どももかなりいました。ヤドカリを100以上集める子や、カニ専門の子、エビや魚を狙う子など、それぞれの楽しみ方をしていました。

途中で、休憩をとり、水分をとった後、再び海へ。海で濡れてしまう子どもも出ましたが、たいへん活気あふれる磯観察になりました。一部の生き物は、学校の水槽で飼うそうです。



昨日(13日)、小網代湾で、マダイの放流を行いました。小網代パール海育隊の皆さん、県栽培漁業協会の皆さんのおかげで、実施できました。

午前中は、三崎小、岬陽小、剣崎小、午後は、名向小、旭小、計160人ほどが参加しました。



最初に、栽培漁業協会の方から、「なぜ稚魚放流が必要なのか」というお話があり、その後、放流に移りました。子どもたちが、シューターを使って、次々に放流していきました。一人3~4回は体験できました。

放流実施後、質問コーナーがあり、「タイの天敵は?」「タイの寿命は?」などの質問が次々に出て、栽培漁業協会の方が丁寧に答えてくださいました。子どもたちからは、「楽しかった」「もっとやりたかった」という声が聞かれました。小パール隊および栽培漁業協会の皆さん、ありがとうございました。

この日、小網代港では、ミヤコノウミウシが3個体捕獲され(右の写真)、マリンパークに届けられました。



この日、小網代港では、ミヤコノウミウシが3個体捕獲され(右の写真)、マリンパークに届けられました。

3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。すでに、22本の実践例がアップされています。皆さんの実践を共有できるように、積極的に投稿、閲覧してください。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで